

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	2 -	事業名	公共交通事業	担当部課	市長公室経営企画課
------	-----	-----	--------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	6	快適で便利な交通移動を確保する	款	2	総務費
		施策の進め方	3	交通の円滑化	項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	5	企画費
		政策分類	-		大事業	5	公共交通事業
	その他(関係法令、要綱等)		「道路運送法」、「公共交通の活性化及び再生に関する法律」				
事業開始の背景、経緯等		平成17年3月にリニモが開業し、東西に公共交通の基盤軸が形成された。 リニモ、名鉄バス及びN-バスが一体となった利便性の高い公共交通サービスの提供が求められている。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域公共交通の活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を作り上げていくため、住民、交通事業者、行政など関係者みんなが集う「長久手市地域公共交通会議」を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公共交通利用者及び公共交通事業者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自家用車から公共交通へ移動手段の転換を図る。					
	事業を 構成する 事務事業	① 地域公共交通会議事業	現状維持	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		915,204	421,191	4,956
決算					915,012	420,686	4,849	
人件費(B)	千円	決算		6,493	8,020	9,263		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		921,505	428,706	14,112		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 市内公共交通利用者	人/日	目標	10,870	11,690	12,140	13,466	15,120
			実績	11,690	12,140	13,466	15,120	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A リニモ、名鉄バス、N-バス各交通機関の乗客数の対前年比増加								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進及び利用者の利便性向上に向けた取り組みを行っている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 公共交通利用者数は増加傾向で推移しており、目標である「対前年度比増加」を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 本市では住宅の建設進行による人口増加の見込みや、大規模な集客施設が建設されたことにより、渋滞の原因となる自動車移動からの転換を図る必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 第2次長久手市地域公共交通網形成計画(計画期間:平成31年度～平成35年度)を策定し、計画で掲げる目標の達成を目指す。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 利用者のニーズを把握し、利便性の高い公共交通サービスを提供するために、行政だけでなく、市民、交通事業者が一体となり、みんなで公共交通を育むことによって、地域にふさわしい公共交通を作りあげていく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公共交通事業									
番号	①	事務事業名	地域公共交通会議事業	款	2	項	1	目	5	大事業	5	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成20年度	終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 対象：市内公共交通利用者及び交通事業者 手段：市民、交通事業者、行政など関係者みんなが集う「長久手市地域公共交通会議」を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) リニモ、名鉄バス、N-バス、タクシーが一体となった利便性の高い交通ネットワークを構築する

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		3,579	3,566	4,956	5,508
		決算		3,387	3,186	4,849	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
①		地域公共交通会議負担金				3,997	千円
②		通信運搬費				647	千円
③		地域公共交通会議委員報償金				153	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
網形成計画（第2次総合連携計画）計画事業の実施事業の実施件数	事業	目標	11	11	11	11	11
		実績	10	9	10	11	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通会議（3回）</li> <li>公共交通利用実態調査（市民アンケート実施）</li> <li>公共交通マップ作成（2,000部）</li> </ul>							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

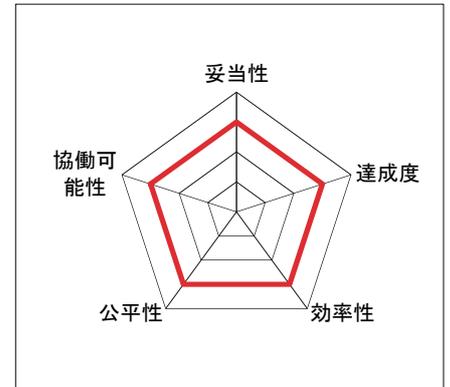
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成28年12月にイオンモール長久手店が、平成29年10月にイケア長久手店が開店し、公共交通の重要度は年々増している。

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
長久手市地域公共交通網形成計画で掲げる将来像をめざし、行政、交通事業者及び市民で連携しながら、長久手市地域公共交通会議を開催することで、地域公共交通の活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を作り上げていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
平成29年度は公共交通会議の委員や市民主体で構成する公共交通応援隊の意見を積極的に取り入れ、公共交通マップに反映することで、市民に分かりやすいと好評であるマップを作成することができた。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



## 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  
平成29年度に実施した市民アンケート調査では、より多くの声を拾えるようアンケート内容を工夫したことや、リマインドはがきを送付したことで、前回実施した平成25年度よりも回収率が大幅に増加した。(35.4%→50.1%)

## 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  
特になし

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

## 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
昨年度に引き続き、長久手市公共交通網形成計画の計画事業をすべて実施もしくは継続することができた。今年度においても、長久手市地域公共交通網形成計画で掲げる将来像をめざし、計画事業を実施・継続していくとともに、第2次長久手市公共交通網形成計画策定にあたっては、平成29年度に実施した公共交通利用実態調査を基に、小学校区別ワークショップ等を開催し、より多くの市民の意見を聞きながら策定する。